

財団法人日本シヤム協會會報

第四十八號

昭和廿三年四月

昭和廿三年四月

財團 法人 **日本シヤム協會會報** 第四十八號

財團 法人 **日本シヤム協會**



バーンコークの日暹協會

天田 六郎

バーンコークの日暹協會というのは、昭和九年から十年頃時のシヤム駐在Y公使やM領事のお骨折りでできたらしい。昭和七年第一革命直前から昭和十年八月まで私はシヤムを留守にしたので、協會設立當時のいきさつは詳細には知らないのだが、昭和十年四月末から約二ヶ月にわたつて日本朝鮮滿洲の視察に渡來した二十名程のシヤム代議士連と各地を一所に旅行したので、その間かなり親しくなつた連中から、件の協會設立に關する前記三氏の盡力について聞かされてはいた。

昭和十年八月私が再びバーンコークに渡つて後、職掌柄日暹協會のことに關して以來、知り合ひの代議士の多くが稍熱心に協會のことにあずかつてゐるのを知つたのであるが、第一番に驚いたことは、當時の政界要人や、少くも外國人に名を知られてゐるようなシヤム人は勿論、國會議員の大部分とか、民間商人で日本との取引でもありそうな人々など數百名というものが協會の發起人名簿に名を通ねるの盛況であつたことだつた。

革命後の新しいシヤムが、積極的に當時の日本に接近して該制度やその他に關し範を日本に取らうとしていた事情があり、またそれには、時のY公使の非常な努力などがあつた譯であるが、それらが一所になつて立派な協會設立發起人名簿ができ上がったらしい。しかるにこの協會も實際に運営される段になると、發起人名簿に名を

連ねた程の名士連もその何分の一かがわずかに會員として残るに止まり、それも會費の徴收には苦心を要する程度で、會の年次大會とか、日本からの名士來訪の機會に催す歡迎會などに顔を出すものとは、關係のある官邊の人とか熱心な常連とかのみで、餘り多數とは申しかねた。

最初の會長はプラヤー・サリディカパン・ベン・チオンという鐵道局技監のごとき地位にいた人であつた。この人は昭和九年東京において汎太平洋佛教大會が開かれた際、シヤム佛教青年會長の資格で他の人々——後に第二代協會長となつたルラン・チャエンサクソンクラームとて當時内務省監獄局長であり、後にビアン内閣の内務大臣や衛生大臣を歴任終戦前ビアン總理引退と共に下野したが、終戦後前攝政プリーデー・パノムヨソ元老（日本人にはルラン・プラディツとして知られてゐる）の首相となるや再び入つて内務大臣となつた人とか、キラーツとてシヤム華僑の大立物故齋佛成の女婿として知られ、太平洋戦争勃發當時まで永く宣傳局長の職にあつたが、更に昭和二十二年十一月のクーデターまでのダムロソ内閣の商務大臣となり、在任中の實職嫌疑でその後逮捕されたと報せられた人物等が一行に含まれてゐた——と共に渡日したことが縁となりよく協會のため盡力した。

彼は鐵道技師で煙草も酒も全然やらないその私生活などシヤム人には珍らしい全くの清教徒的日常を送り、格別社交的ではなさそうであつたが、ロータリー・クラブやサイアム・ソサイティーなど外國人の多く關係する會の役員をやつてゐた。協會の創設時代しかも諸々の日本人名士の訪暹が空前に盛でもあり氏は相當苦心したらしいが、このような經歷をもつた日暹協會は一體何の事業をしたかといふことになるが、まず日本語講座の開設などはその事業の大きなもの一つであつた。しかしその經費の點や實際の運営のこととなると、金も人も日本から渡り、實質的には協會は全然あらず知らないとどころであつた。

協會として、創設當時日本から數多く渡來した各種の使節團——その頃經濟使節團とか藝術使節團とか、さては柔道使節團といふものまであつた——や個人資格の名士連のためにあつせし歡迎會を數多く催したが、やはり協會の事業とあれば、アユチャワ郡における日本人村址や山田長政の史蹟保存のことを擧げねばなるまい。アユチャワの町はバーンコークから北方僅に汽車で二時間程を達することできるので、シヤムを訪れた旅行者は必ずこの町の見物を旅程に入れることを忘れない舊都で、十四世紀の半から十八世紀半頃まで約四百年の間繁栄したアユチャワ王朝の首都であり、一時日本人の來住者多く山田長政に結びつけられた日本人村の史實もあつて、この日本人村址の史蹟保存ということが協會の事業として取り上げられたのだ。

私ははじめ協會に關係するようになった當時は、既にアユチャワのいわゆる日本人村址に若干の土地が購入されてあり、甚だみすぼらしい小さい祠がおかれてあつた。これは又聞きて聞違つてゐるかも知れないが、最初協會が設立された當時、時の内務大臣ルオン・プラディツマタム即ち後、攝政プリーデー・パノムヨソ元老のあつせんで氏の總長であつた文政大學から金いくばくかを借入れ、日本人村址に少許の土地を購入し、取りあへずささやかな長政祠を建立したものだそう、祠の前にはバーンコーク日本人會や日本人

しいが、昭和十七年會長を辭任の際には勳二等瑞寶章が下賜された。二代目會長は前に述べたチャエンサクソンクラームさんで昭和十九年まで大臣という多忙極まる要職にある身をもつて、毎月の役員會には必ず出席して協會の世話をしてくれた。當時役員以外に内務省職務を處理する有給職員がいなかつたので、チャエン會長は内務省後には衛生省の部下である庶務課長のごとき地位の人を常に隨伴して來て役員會の議事を記録させていたことは私には奇異にも感ぜられたが又大いに恐縮したことであつた。

チャエンさんの辭任の頃は既に時勢が非となつた故か後任會長を引受けてくれそうな人は容易に見付けられなかつた。私は副會長のプラ・チャクラーム・コーンキツ海軍大佐——この人は明治末年頃神戸の川崎造船所に留學した經歷を有し當時海軍工廠長をしていた——と相談して共通の知人である第六世ラマ王の侍從長だつたチャオプラヤー・ラマを訪問して會長就任を懇請した。

六世王時代の大臣といへば老年に聞かせるがこの人は侍從長となつてチャオプラヤーという最高の勲賜號を受け陸軍大將海軍中將をも兼ねたのは三十歳を多く出していない年頃のことだつたので、若い頃美男の聞かえ高かつた氏は、昭和十九年當時六十歳にはまだ間があつて若々しい容顏は仲々元氣に見えた。氏は細心の人で協會の組織や事業や經理方面のことから更には何が故に自分を會長に推顧するかとということまで納得のいくよう細々と尋ねた上、一旦引受けた後は驚く程の熱心さを示し、役員會などにはその宏壯な應接間や食堂を提供してくれた。氏がこのように熱心を示してくれたにか、わらず、おしくも、その頃既に戦争事情も益しく緊迫して來て、協會としては何もできなくなつてゐた。

青年會の協力により記念標と日本式烏居が建てられてあつた。

ところでこの祠は全く名許りの極めて貧弱なものであつたので、昭和十三年わが海軍練習艦隊のシヤム訪問の際、パーンヨーク駐在海軍武官の盡力によつて臺灣阿里山檜の用材を造られた高さ二メートル程の神社本殿風の祠を招來して稍面目を改めることができた。その頃、日本入村地に長政神社の建設を唱えるものが日本人間の一部にあつたので、シヤムのごとき外國の土地に神社の建立が果して可能か何うかの問題が論議された。建立を熱心に主唱した人々のことを今更あげつらうても致し方ない仕儀であるが、とにかく色々のいさざつがあつて結局昭和十二年の日進修好五十年記念事業の一つとして稍大きい記念碑を「アユチャ」に建てることに議が一致し、日進協會が中心となつてその建設事業を實現することに落ちついたのだつた。

協會では早速右計畫案に基いて先ず敷地を選定することとなつた。それには前述のように既に日本人村地に買収した數百坪の土地があつたので、その土地に隣接する荒蕪地を約二千五百坪程買ひ足して、これを地上げし、長政祠附近を若干體積の整つた庭園式に手を入れ、その中心に臺石および碑をすべて御影石造の約十五メートル程（この數字は正確な記憶ではないが）の高さのものを建設することに定め、昭和十一年訪連の經濟使節團の寄附にかかる長政記念事業資金をもつて取りあえず土地購入および地上げ工事だけは昭和十二年初の乾燥季中に完了することができた。

また記念碑の方は當時シヤム土木局に奉職していた日本人技師を煩わし設計を考案して貰うことができた。そしてその費用は日進兩國内でそれぞれ寄附を仰ぐことに定め、日本内地の寄附募集と碑用

材の御影石入手等に關するあつせんは主として東京と神戸の各日日進協會に依頼の手續を取つた。しかるに昭和十二年七月日支事變勃發のため以上の計畫はすべて進行を阻止されてしまつた。

しかしその後日本人の南洋熱が一層高まり日進關係も何かと急激に密接さを加ふるにつれアユチャに遊ぶ日本人も増加してきて、長政祠のみすぼらしさを見ての憤慨や史蹟保安に關する希望や意見も多く出るようになってきたので、それらの示唆に基いて、パーンヨークにおける可能な範圍で日本村址を記念すべき比較的恒久的の施設をなすことを考案し、日進兩人間から資金の寄附を仰ぎ實行に移らんとしたが、やはりその後の戰爭事情がこの計畫をも實行不可能にし立消えとなつた。協會がアユチャになした計畫は皆そごしてしまつたが、昭和十二年九月二十六日の日進修好五十年記念日に際し長政祠前庭において多數の日進入會員が參集し極めて盛大な記念祭を擧げたことは、日進協會のアユチャは對する直接の想出であらう。その時メナム河の水嵩が増して祠附近は一面の水浸し状態であつたが、記念式場は縣知事等のあつせんによつて板の上床を急造して用にあつたことであつた。

このような歴史をもつていた日進協會も遂に昭和二十年戰爭終結直後、シヤム政府によつて解散が命ぜられたことを抑留生活中の私達は新聞報で知つた。最後には協會の日本人關係者の經驗した協會運営上の困難について若干觸れておきたいと思ふ。

本來を申せば、日進協會の如き、シヤムにおいて設立された以上主としてシヤム人の力によつて維持される筈のように考えられ、その點協會役員として常に獻身的な努力を示した人々も若干はあつた。しかしこの經費のこととなれば話はまた別であつた。協會創立當時、文政大學から資金の一部を借りたことは前に述べたが、私の又聞きしたところに誤りがなかつたならば、右は協會基金としてシヤム入會員が負擔する如き發起人の意向だつたが、後に至つて基金中から右借入金返済したような仕儀であつた。アユチャの購入土地については無毛の荒蕪地だつた場所の地價について私に注意した會員もあつた。

協會として、多く日本人入會員に頼らない譯にいかない事情も出てきて自然日本人側役員が何かと積極的に立入る結果となつたが、そうしない限り協會は潰れる外なかつた。

純粹の兩國親善の促進に、民間から協力せんとする本旨から種々努力している積りはあつても、何か經營上に拙劣なものがあるのか。または日本人が深く立ち入り熱心を示し過ぎるので何か政治的意圖を有するものなるかに誤り見られるのであらうか。

日本人側から積極的に立入りざる限り潰れるかも知れないと見るのは日本人的の見方でシヤム側に全然委し切れば結構續いてパーンヨーク・ダイレクターには立派に名稱が掲げられるともいふのであらうか。

終戦後になつて協會が解散を命ぜられてからのち、シヤムの戦犯裁判所における或る對日協力戦犯容疑者の裁判に關連し、協會に對し終始關係して最も熱心を示したブラ・ピッツサラー老は證人として出廷し、協會との關係につき種々訊問を受けたことが當時の新聞に掲げられた。

協會の發起人の一人で設立後は全然關係しなくなつたララン・プラディツママータムは、同じ戦犯裁判所で、革命以來シヤムは諸制

の範を日本に取らんとしたが中途において日本が軍國主義的帝國主義的の勢力に左右されていて、これに接近することは危険だと考え遂にはこれを敬遠したと證言している。

やはりアユチャに日本村址記念碑とか、長政祠とかを建設するとき熱心を表に示すことがいけなかつたのであらうか。

京城大學の船田教授が、或る雜誌に發表した隨筆の中に、終戦後内地に引揚げてくる途中、釜山から現地人の郡集が神社を焼打ちする有様の物すごさを彼したくだりがあつた。戰爭中南方各地にも日本神社が建てられたがこれ等は終戦と共に建立者自らの手で取り壊されたらしい。長政祠も終戦前既に祠の小さい金具などが盗み去られることが多くなつたが、終戦後は果してどういふ具合になつたことやら。

プリーデー元老が裁判所で證言した日本人に對する危険感といふものは一體何所からくるものなのか。前記船田教授の隨筆の題は、政治家の知性となつていたが、現地の人々に委し切るべき協會のことにおせつかいだつたり、記念事業に神社や碑の建設しか考えられないのは私達日本人全體の知性の問題となるのではなからう。

シヤム大藏省收稅局長を永く勤め、シヤム名プラーヤー・インドラモンドリーを勲賜され、退官後もパーンヨークに定住していたイギリス人ジャイル氏は一種の東洋學者でもあつて、ビルマやシヤムの歴史に關する著書が多い。そのジャイル氏が昭和十五年のこと或る時私に手紙を寄せて氏の永年研究している山田長政の事蹟について、日本人の研究者は長政のことと同時代同じくシヤムで活躍した他のもう一人の日本人のことを混同してゐるのではないかと思はれるので、この點一度日本の専門家に意見を交換し合つて見度とい

う意味を述べ、氏自身の研究になる老大な長政史記の掲載されてあるバーンコック・サイアム・ソサイティの會報を送つてよこしたので、私は東京日進協會を通じて中村孝也博士に對しジャイル氏の希望をその著書と共に申送つた。私對中村博士を思いついたのは、實はその前博士の長政に關する著書を國際文化振興會で英文で出版したものを入手したので、一部ジャイル氏に寄贈して置いたことから、氏は前記のようなことを私に申送つて來たのだつた、しかるに私の東京への照會に對しては遂に何所からも何等の回答を受けることができなかった。

ジャイル氏は殆んど盲目に近い強度の近眼で、讀書や執筆はすべて氏の令嬢が秘書役をつとめるのであつたが、その氏が材料の少ないアナチャ時代の資料の中から日本人に關する資料を集めあの老大な長政史記をものしたということは誠に讃嘆にあたいすることであり、一面またこれこそ日暹國交史に關するこの上もない立派な記念碑といつて宜しいではないか。しかもこの記念碑たるヤシヤム名を持つイギリス人によつて建てられたという點に一層深い意義もあると思う。しかるにそのジャイル氏の研究の一層の完成に對し、つまりその記念碑の仕上げには氏に希望されながら私達日本人には何のお手傳もできなかったのだ。そうして日暹修好記念事業などといつて長政神社だとか、御影石材の記念碑だといつていきりたつていたので、確に私達の知性は問題にされて宜しいであらうし、敏感なフリーデー元老から危険視されるだけの根據はあるようにさえ考えられる。

バーンコックの日進協會の想出話から、またいつもの癖の繰り事になりそうだからこの邊で擲策しよう。(三三・四・一〇)

シヤムの行方

吉川英男

中國印度蘭印など、思想的あるいは民族的闘争の流血をもつて、日々々の歴史を畫きつゝある激動下のアジアにあつて、比較的安定していると思われていたシヤムを襲つた昨年十一月のクーデターは、民主主義時代においては最も避けなければならない暴力的行爲であるだけに、複雑な國際情勢下の今日、列國が如何にこの問題を處理するかということは、われわれシヤムに關心をもつ者の等閑視できない問題であつた。革命派の最も苦慮したのも恐らくこの點であつたと思われ。同派は、今次クーデターは純然たる國內問題である、再三その聲明において言明しているのであるが、何故革命派がかくも對外關係に過敏であるかという、ビブーン元帥が革命を指導していたことは公然の秘密となつてゐるからである。彼は對日協力者の一人であつて、しかも首相時代に行つた獨裁者の國家主義的政策のため、彼の國際信用は殆ど零に等しく、もし彼が再度爲政者として政界に復歸すれば同國の國際信用もまた薄らざるをえないことを恐れているものと考えられる。革命が成功した翌日即ち十日早朝、革命派がビブーンを訪れ、彼の政界復歸を要請したと報せられているのは、彼が直接革命を指導してゐなかつたことを示さんとする一つのゼスマアであらう。

クーデターは極めて不穩裡に一應成功の形を終るし、時局は必ずしも安定したとはいえないが一時世界の耳目を奪つた。シヤムのク

後記。本文中筆者の記憶違いによる誤記を發見された方はどうか御示教を賜りたいと念じております。

「クーデター問題も「時が全てを解決する」という言葉とおりの大體豫想した方向に向いつゝあるようである。勿論これは同國がコールドウオアを纏ける激しい米ソの對立下にある世界政局の中心より稍離外にあることも大きな原因の一つではあるが、經濟的思想のさらにもまた今日の世界史的觀點において同國のしめる比重は極めて輕いものではあるが、ここに見出すことのできない點は、保守主義と進歩主義の思想的對立のあることである。ここで何故私が進歩主義という抽象的模然たる言葉を用いたかといふと、退嬰的保守的性格を多分にもつシヤム人の間には、我々が考へるような極端な極右極左といふような思想的對立は見られないからである。

昔から文官派元老たるフリーデーは同國においては過激思想の持主であると考へられ、甚しきは共產主義者であると極言する者さえあつた。一九三二年の第一次革命を契機として、次々に行われた政治的經濟的改革は、廣き世界史的觀點から觀察すれば、決して過激なものではなくまた進歩的であつたとも決して言えない性質のものであつたが、長年の專政君主制——王族專政政治といつた方が適當かも知れないが——の壓制下になられたシヤム人にとつては、確かに過激なものであつたに違いない。そしてこの改革の立案者と目されるフリーデーを稱するに共產主義者であると噂したことは充分考へられる處である。これがため彼は知識階級たる官吏教員を除いては軍人は勿論一般大衆の支持も比較的少く、太平洋戦争の勃發は毎々彼をして政治の表面より退かざるをえない結果となつてしまつたのである。しかしながら戦時中彼がアドウン大将らと共にフリーデーの指導者となり對日反抗者として活躍したことが明かになるにおよんで、彼の名聲も大いに回復した模様である。

終戦後フリータイ一派の勢力は徐々に政治面にまで進出した。彼等が更に強力な一大勢力を結集し、シヤムをしてより高度な民主主義的近代國家にまで高めようとしていたことは、シヤムが終戦後の新事態に即するため二院制議會制度の確立政黨結成の自由などを認め、昨年五月の改正憲法成立の一ヶ年アーナンタ前王の變死事件がおこり國民の疑惑を深めていたが、たまたま今回のクーデターの結果、改正憲法を廢止し臨時憲法を發布しかえつて益々強力な王權の確立を計り、むしろ時代の趨勢に逆行せんとする傾向を示したこと、即ち臨時憲法によつて進歩的の發展を封じたことによつても暗示せられるのである。

特權階級が暴利を貪ることはシヤム政界の常套手段である。非力ながらもクーデターの日まで續いたダムロン内閣は、この點最も甚しく、米の産出國でありながら米が食えないという現象は、主としてマライ方面に大量に密輸出せられたためであるが、この關係者の中に是有力な關係もおおと噂されている。加うるに取締當局たる警視廳の腐敗も甚だしく、國民と政府とは全く遊離し、しかも兩者間の溝は益々大きくなつていつたのである。

この機會を利用して一舉に共和制樹立を計畫したがフリータイ一派であつて、この目的發行のための手段として、アーナンタ前王をおよび現王の暗殺を策したのである。彼等一派はまづ經濟的攪亂をおこなひしかして國民の動搖の間隙を利用して、黨員は自ら武器をとり市中の機打をおこない、ついで軍隊を攻撃しこれを解體し、かくして第一大統領に元老フリーデューを推薦するという周到なる計畫を樹立したのである。しかしながらこの陰謀はルナン・サンナン空軍中將ビン陸軍中將一派の知るところとなり同派は革命を起しフ

いないからではあらうが、近代國家建設途上にあるシヤムが、好むと好まざるとにかかわらず、世界政局の渦中に卷込まれ、しかして新なる思想的危險を包藏して來ている事實は注目すべきことであらう。

ビーンは直接政治の責任者にはならないと再三言明していたが、彼の野望と政權欲は必ず近き將來かつての如く爲政者として政治の表面に現われるに違いないと豫想していたが、二三日前の新聞の報道によると、アバイラン内閣は總辭職し後任に彼が選ばれたことを傳えている。彼が戦時中のごとく絶対專制者の様な政治を行うことは許されないのであらう。また議會において過半数を占めるアバイランの率いる民主黨の協力如何にあるのであるが、同黨はビーン内閣には關係をもちないと言明している。時代の推移はいつか普通の進歩主義者ビーンをして保守主義者とした觀があるが、彼の個人的政權欲のために近代國家の進歩を止めたくはないものである。(CIII・四一二)

フリータイの計畫を未然に防がんとしたが、これまた道にフリーデュー等の知るところとなりルナン・サンナン一派を逮捕せんとした。ところがこの計畫を洩漏したルナン・サンナン一派は十一月九日遂に起ち上つたのである。かくの如く、クーデターの底を流れる思想的對立は確かに原因の一つとはなつていたかも知れないが、他國に見られるように激しいイデオロギーの對立というのでは勿論なく、同國の當面的政權争の域を出ないものであるかも知れない。シヤム人の思想的變化は現在世界各國をおそつている民主主義と共產主義の對立にもかかわらずあまり顯著ではないと言われる。しかしながら、このような保守主義と進歩主義の對立は、現在の世界的思想の混亂期において何等かの發展をなすべく運命づけられていることは豫想せられることではあるまいか。シヤムの地理的地位が、中心より國外に位置しているといへば、世界政局の渦中に卷込まれることなく超然と自國の封建的保守性格を永久に持續するとは考えられないからである。

さらに過去において南方唯一の獨立國であつたシヤムは、たとえ現在もイギリスの經濟的羈絆下に置かれていたとはいへ、インド、ビルマ、あるいは佛印、蘭印等のゴトく、最近獨立を獲得した諸國に比すれば、歐米列強の政治的經濟的勢力は稀薄である。右の事情に加ふるに、地理的に見て大體南方の中心地に位置する同國の對し、最近ソ連は異常なる關心を有していると傳えられている。共產主義思想は世界の潮流としてこゝも國外にあることは許されない。然し、共產主義は現在までのところ、華僑によつて宣傳せられてはいるが、シヤム人間には勢力は布種していない。共產主義に對し格別の關心をもつほど一般シヤム人の對ソ知識ならびに教養ができて上つて

シヤム情報

○七國コミンフォルムが滿洲で(廿二・二五・二六・二七・二八・二九・三〇)NT)
獨立新聞「ワールド・デイリー・ニュース」は土曜、七國極東共產主義者國際會議が滿洲において結ばれたと唱へた。該中國の新聞は中國、蒙古、朝鮮、インド、シヤム、フィリッピン、代表三百五十名が會議に列席したとの奉天よりの報道をのせた。同紙は會議は一週間續いたといつた。同會議は日本海に面する南シベリアのウラジオストツクに極東共產主義者情報局を設置し、ヨーロッパ共產主義者と緊密な接觸を保つことを引受けることを決定した。(ペイデン・三〇・INS)

○シヤム、大使を罷免(二二・一〇・NT)
バーンコーク報道によればシヤム外相は駐南京大使を罷免するに決定したと。大使はバーンコークに歸還することを拒絶し、且つ彼の反政府態度によるためである。(二二・九・シンガポール・ラヂオプレス)

○比島シヤム公使館(二二・一五東京タイムズ)
キノ・フィリッピン副大統領兼外相は十三日「フィリッピン政府は現在のところバーンコークに公使館を開設する意志はない」と言明した。この決定はシヤム政府が最近のクーデターで變つたためとみられる。(ハキオ・二二・一三UP共同)

○シヤム憲兵局廢止を提案(二二・二八時事)

シヤム陸軍司令部の非常特種廢止にともない、國防省は廿六日議會上陸軍憲兵局の廢止に關する法案を提出、同時に陸軍の民主化をはかるため文官武官各十二名からなる國防會議の創設を提案した。(バーンコーク二二・二六UP共同)。

○ダムロン前首相(二二・三〇)

シヤム國防省は廿九日のクーデターで追われてその後妻をかくしていたダムロン前首相が新政府と交渉を始めていると三十日つぎのように公表した。「ダムロン前首相ならびに前警察長官サウワ海軍少將は廿九日ビーン元師と會見した」。(バーンコーク二二・三〇UP共同)

○在シヤム日本人ドイツ人解除(二二・三二NT)

イギリス大使館は、在シヤム日本人ドイツ人は正常なる業務その他の活動をなし、また財産全部の使用を許される旨、通告した。この財産の安全なる解除は、統轄されてきた各個人私有財産および個人業務財産に適用されると通告されてある。この解除は、戦争開始當時、日本人ドイツ人を使用して来たドイツ日本商社の在シヤム支店に關する財産をも含む。横濱正金銀行に預金せる個人財産は同銀行の精算が完了するまでは解除されないと、通告されてある。(バーンコーク二二・三〇UP共同)

○スキスが承認(二二・三二NT)

シヤム新政府承認のさきがけがスキスから當地スキス公使館に報

ぜられた。スキス領事ランツインゲル博士は既にシヤム外相に本國政府の意圖を報じた旨發表した。(バーンコーク二二・二九UP共同)

○前國王の死他殺と發表(二二・一六)

シヤム政府は一昨年六月なぞの死をとげた若き國王の死は他殺であると十五日夜ラジオで發表した。その發表によると、宮廷内て王の死體のそばにあつたピストルは王の死とは關係のない武器であつた。これにより警察は主なる王側近者の全容疑者を引續き抑留するよう要求することにならうがその氏名については何ら發表されなかつた。(バーンコーク二二・一五AP)

○國旗禁止令に中國反對せん(二二・二)

中國外交部は華僑學校に中國旗掲揚に反對するシヤムに外交的申立をしようと考慮していると本日報じた。シヤム政府は總ての學校にシヤム國旗のみを掲揚式にシヤム國歌を歌ふことを命令していった。(南京二二・二六UP共同)

○シヤム總選舉施行(二二・三〇時事)

シヤム陸軍のクーデター後の最初のシヤム國會議員總選舉は廿九日行われる。クーデターによつて興黨となつた人民民主黨は百の議席に對し九十五名の候補者をたてて、立候補者は合計四百名に上つている。(メルボルン放送二二・二八RP共同)

○南シヤムに分離運動(二二・一)

シヤム政府當局は三十一日マライ國境に近い南シヤムに分離運動

が発生していると次の様に發表した南シヤムのマライ國境に居住するマライ人小數派はシヤムから分離したイギリス領マライに合流することを要求しており、内務省當局は現地官憲から至急警官を増派するよう緊急要請を受取つた。(バーンコーク二二・三一AP共同)

○中國シヤムの移民割當に反對(二二・四)

バーンコークの中國大使館はシヤム政府がこのほど一九四七年度の中國人移民數を一萬名に限定したのに抗議しつぎの様な特別コメントを發表「シヤム政府の言明した數字は戦時中の變則的な中國移民數にもとづいて算定したもので公式に問題を處理していない。一萬名といふ數は昨年五月一日から十月まで新にシヤムに入國した中國人の數にしかあたらな。一年間の移民許可數はさきにシヤム前政府と國府間に締結された取極めにもとづいて一九二七年から一九四一年にわたる十五年間の平均値にもとづいて算定されるのが當然である。(バーンコーク二二・三UP共同)

○總選舉に民主黨勝つ(二二・四NT)

クラン・アバイラン首相の民主黨は、木曜の總選舉においてシヤム國會の議席六十三中三十六をえた。ルラン・ビーンソンクラーム元首相を支持するカムマーティーツ(正義)黨は七名をもつて第二位をえた。無所属は十四、他の二黨は五。(バーンコーク二二・三AP共同)

在シヤム中國人の抗議(二二・五NT)

シヤムにいる中國住民は「特別の場合」の外は中國の私立學校に

中國旗の掲揚を禁止するシヤム法律の改正を要求し、當地の大使館に再び抗議した。(バーンコーク二二・四UP共同)

○シヤム下院總選舉最終結果(二二・七)

シヤム下院總選舉は一月二十九日施行六日開票を終つたがアバイラン現首相のひきいる民主黨が當選者百名中五十四名を獲得し第一黨となつた。アバイラン内閣は六日總辭職を行うことになつているが第二黨の當選者は僅かに十三名でアバイランが内閣を再組織する可能性が強い。無黨派員も民主黨を支持するものと見られているが民主黨領袖セニー・ブラモーツ氏はアバイラン氏の再任を期待し次の様に語つた。「民主黨は辛直にアバイラン内閣の再現を望んでおり、バーンコークでは六萬五千の投票者中四萬五千がアバイランを支持した。なお今回の總選舉には八十五名が再出馬したが再選者は僅かに三十三名にすぎなかつた。(二二・七バーンコークAP共同)

○シヤム内閣總辭職(二二・九東京)(二二・一一人民)

アバイラン内閣は七日朝總辭職した。後任はビーン元師アバイラン前首相アドウィン大將または一九三八年佛シヤム交戦に遠征軍司令官なりシテバステイン將軍のうちから選ばれると見られてゐる。(バーンコーク二二・七共同)

○シヤム發電所にアメリカ投資(二二・一四)

一アメリカ商事會社は十三日シヤム政府に對しカンチャナブリー(バーンコーク西北百三十キロ)の發電所建設に三百萬バーツを投資すると申入れを行つた。なお同發電所はシヤムの十九州の電力

を供給する計畫である。(バーンコック二・一三A.P.共同)

○アメリカより借款(二・一五NT)

シヤムは道路・鐵道・電話の復興のためおそらくアメリカから千五百萬ドルの借款を求めると十三日當地滞在中のシヤム高官がいつた。(二・一四シンガポールA.P.共同)

○南部シヤムに不穩形勢(二・一六)

シヤム南部四州のマライ人特に回教徒は常に不安定な地位におかれ、最近にさらされては二月十六日以来多くの避難者が四州から國境をこえてイギリス領マライに流れこんでいる。クアラルンプールにいるマライ人の代官人は「シヤム國內のマライ少數の指導者ハジスロン氏は一月十六日シヤム四州のイギリス領マライ合併運動に關係したとの理由で逮捕拘禁されたがその後これらの四州では引續きマライ人が逮捕されていると語つた。(二・一六)

○シヤム南部に不穩形勢(二・一七時事)

ストリート・タイムズ紙は十五日シヤム南部四州の七十萬のマライ人間に不穩な事態が勃發したためシヤム軍隊の主力は目下同地方に出動中と報じている。マライ連邦クアラルンプール電によればシヤム軍隊は治安維持の目的で派遣されたもので、反亂の未然防止措置であるといわれるが同地方に武装反亂の起る氣配は目下のところ殆んどない模様である。しかしシヤム南部地區のマライ人特に回教徒は普遍に彈壓を受けて檢束と恐怖の狀態におがれているといわ

れ、一月中旬以來シヤム南部の四州から英領マライへ多數の避難者が殺到している(シンガポール二・一五A.P.)

○南部シヤム平常(二・一八)

シヤム内務省總務局長ブラヤー・ラムラジバクデイーは十七日マライ人の分離運動が起きている南部シヤムの視察旅行からバーンコックに歸還し「南部シヤムの情勢は平常通りだ」と次の様に述べた。「シヤムからの分離とイギリス領マライとの合併をねらうマライ人分離運動は七十萬マライ少數民族の中で大衆支持をうけていない。シヤム警察は四名のマライ知名人を逮捕したが、これは彼が當局の警告を無視して分離派の宣傳刊行の禁をおかしたためである。彼等の中には宗教的指導者のハジ・スロンがはいっている。

○シヤム國王本年末歸國(二・二一)

ロンドンのイーヴニング・ニュース紙の報道によればスイス滞在中のプミボンシヤム國王は一昨年六月暗殺されたマヒドン前國王の火葬式に出席するため本年末バーンコックに歸國することとなつた。(ロンドン二・二〇A.P.共同)

○シヤム新議會成立(二・二二)

總選挙後最初のシヤム國會は十九日上下兩院議員百八十名が出席攝政會議議長アーティエ殿下司會の下に開院式を舉式した。(南京放送二・二〇R.P.共同)

○食料農業機關に參加疑問(星條二・二五)

國際連合食料農業機關による世界米穀會議へのシヤムの参加は今日尙未回答である。準備會議が三日目にはいつた時、米穀飢餓國の代表は、去る十二月の拒否から尙、じらしてあるバーンコック政府は、月餘をへた政府が國際連合アジア經濟使節によつて承認されない折柄、三月一日の食料農業機關會議を冷視するかもしれないことに關心を拂つてゐる。ハロルドA.ゾーゲル書記長は食料農業機關は全參加國はシヤムの参加を歓迎してゐる旨バーンコックにくりかえし確報した。戰前シヤムは精米百七十萬トンを輸出し、その大部分は中國マライに向かつた。本年の産出は戰前の水準に達すると見られる。(バギオ二・二五A.P.)

○中國公使のシヤム談

國府に報告のため歸國した李鐵錚シヤム大使は廿六日シヤム政府の中國在留民に對する政策は友好的な政策から差別的なものに變つて來ると次の様に語つた。「シヤム新政府が政權をにぎつた頃は外交的承認を求めると同時に友好的態度をとつていたが最近極めて國家主義的となつたシヤム政府は在留中國人にあらゆる制限を加え中國人の學校に中國旗をかかげることを禁じたりしている。國府は自分の報告に基いて新政策を決定するだろうが、國府はシヤム在留中國人の狀況を非常に重視している。(南京二・二六U.P.共同)

○アバイランを首相に指名(二・二二)

シヤム樞密院は廿一日前首相アバイランを首相に指名した。新首相に對する議會の信任投票は廿六日に行われる豫定である。アバイランは昨年十一月のクーデター以來首相の地位にあつた。同氏は一

月の總選挙で定員百名中五十四名をしめ第一黨となつた民主黨の黨首である。(バーンコック二・二二A.P.共同)

○アバイラン組閣(二・二七NT)

アバイラン新首相は廿五日を終り閉會廿五名の認證を終へた。これによれば内相はアバイランが兼任、セーニー・プラモーツ前副首相兼司法相が新たに教育相に變つたほか主要閣僚は従前のまゝである。なお新内閣には王族および軍部からそれぞれ七名の閣僚が參加してゐる。(バーンコック二・二五U.P.共同)

○シヤム米

國連食糧農業機關は目下バギオで開催中アジア地區米穀會議にシヤム代表の派遣を要請していたが、シヤム政府代表にこれに應ずることになり、二日首相代理デッ・サニツラン氏を團長とする三代表がバギオに向つた。他の二代表は商務次官補ノララツ・チャムノン氏と食糧専門家チエア氏である。(シヤム政府は代表派遣方につき再三招請をうけたにも拘らずこれまでその態度を明かにしてなかつた。これはさきのアジア極東經濟會議においてシヤム新政府の承認問題とからんでシヤム代表の資格が問題となり結局正會員としての資格が認められたがシヤム代表はこの取扱方につき釋然とせず引揚げるに至つた。この標ないきさつから今回の會議に代表を送るかどうかは注目されていたがシヤムがアジアの餘剩産米國でありアジアの食糧問題解決に重要な地位を占めてゐる關係上國連當局は同國代表の派遣を熱心に懇請しこれがいれられたものである。(バーンコック三・二U.P.共同)

○シヤム米輸出可能量廿五萬ト(三・五朝日NT)
目下バギオで開催中の國連食料農業糧食會議への招聘に應じサニット首相代理以下のシヤム政府代表は三日バギオに到着した代表の一人プラナライ・チャムノン商務次官補副代表はシヤムの米穀事情につき次のように述べた。
シヤムの本年輸出可能量は廿五萬グラムトンと見積られる、シヤムは現在米の密輸出で最も困っている國の一つで、正確な數字はわからないが、海外市場に密輸される米は十萬トンに上ると見積られる。

米作は機械化農法の採用によつた増産が期待される。なおシヤム代表スポークスマンはさきに決定した太平洋漁業會議にもシヤムも参加を申込むことにならうと語つた。(バギオ三・三AP共同)

○六國シヤム政府を承認(三・八NT毎日)

六ヶ國はクラン・アバイラン首相の政府を承認した旨本日シヤムに通告した。承認はアメリカ、イギリス、中國、フランス、インドオランダによつてなされた。政府に對する反對攻撃は議會において昨日前王の死についての論争をもつて終つた。王は昨年六月銃創をうけて死せるを發見されたものである。アバイランは信任投票を得た。(バーンコーク三・七AP共同)

○南部シヤム分離運動(三・八時事)

シヤム南部からのマライ人代表を含めたマライ人數千は五日コタバルで會議を開きシヤム南部四縣のマライ連邦編入を要求することと決議した。(シンガポール三・六AFP共同)

も戦後初の輸出が行われた。(ニューヨーク放送四・四RP共同)

○シヤム内閣總辭職(四・九朝日毎日)

クラン・アバイラン内閣は七日總辭職し、後繼内閣は陸軍總司令官のビブーン元帥が組織する模様だが確認されていない。辭職の原因は判らないがアバイラン首相は辭表提出に先立ち六日夜昨年十一月のクーデター指導者に加え徹夜の閣議を開いて、何事かを協議した。(バーンコーク四・七ロイター共同)

○アバイラン内閣辭職(四・九NT)

民主黨主・クラン・アバイランは水曜夜文書をもつて内閣辭職を記者に發表した。消息筋は昨年十一月クーデター後アバイランをすえた軍部の壓力によると信じている。後任候補の一人としてダムロン・ナーワーサワツ海軍少將があげられている。彼はクーデター後逃れて隠れていたが火曜日夕、赤十字祭に初めて公然現れた。も一人の候補はダムロンの首相代理であつたドワン・ブンナークである。辭職の理由はビブーンを頭とする軍部が連立内閣、王族の内閣退陣、生活費軽減策、シヤム利益擁護強硬策を要求したものと消息筋は報じている(四・八AP共同)

○ビブーンに組閣下命(四・一ONT)

シヤム樞密院は本日ビブーンソンクラーム元帥に軍の壓力下に辭職したクラン・アバイラン首相の後に新政府の組織を依頼した。ビブーン元帥はダムロン・ナーワーサワツ首相の政府を倒した電撃的軍クーデターを指導した十一月以來陸軍司令官であつた。彼自身一九

○シヤム金返還を希望(三・八時事)

シヤム財政當局代言人は六日「シヤム政府は現在日本に凍結されているシヤム所有の金七十トンを返還されることを希望している」と言明し、また「シヤムは國連機構に引渡す米一トンにつき四ポンドの價格引上を獲得した」と發表した。(バーンコーク三・六AFP共同)

○ソヴェート代表バーンコークへ(三・一八NT)

ソヴェート公使セルゲ・ニームヒナと家族は本日ロシア公使館と共にバーンコークについた。(三・一七バーンコークUP共同)

○シヤムのアヘン製造禁止(三・二四NT)

大蔵大臣代理クツクリツ・プラモーツの發表によれば、シヤム政府はアヘン製造の禁止をなした。(バーンコーク三・二三UP共同)

○ソ連シヤム將校訓練か(三・三〇朝日)

イギリス紙サンデイ・タイムスのバーンコーク特派員が報ずるところによるとソヴェートはシヤムの將校を訓練のためにソヴェートに派遣するよう先週シヤム駐在のソヴェート公使を通じてシヤム國防省に申入れたといわれる。(シンガポール三・二八AP)

○第一・四半期シヤム米輸出額

シヤム政府は四日日本十一月から三月までのシヤム米の輸出高は十九萬一千トンを突破し、三月だけでも七萬三千トンを積み出したと發表した。輸出先は大部分がマライとインドで、イギリスハ

三八から一九四四まで首相在任後、議會反亂に放逐された。アバイラン内閣はビブーン政府に参加しないこと一致同意した。アバイランを含む數名は新内閣に是認された。ナーワーサワツ氏は外相に就任するかさぐられたが拒絶した。これより先、アバイランは十一月のクーデターを組織した軍指導者達よりの諸要求を拒絶し、軍は首相にその政府の不成功を警告していた。軍指導者達は連立内閣、王族の内閣退去、生活費軽減、外資導入開拓反對の強硬政策實施を要求した。君主派は議會に優勢なる地位を保持している。アバイランが軍の要求を拒絶し内閣が彼を支持した時、軍は彼を追出せうとしたが、王の名によつてなす樞密院は同意するを拒んだ。(バーンコーク四・一〇AP共同)

○シヤム米輸出割當

國際緊急食糧委員會は九日シンガポールで分科委員會を開き、本年六月末までの米輸出割當量はシヤムは四十萬一千トンと決定した。(シンガポール四・九ロイター共同)

○英ビ内閣を承認せん(四・一NT)

戦時中の對日協力者ビブーン元帥が再び首相として返り咲いたことに對し米英兩國は注目しているが、消息筋では九日英米兩國は新政府を承認するだらうと次の様に報じてゐる。

公式報道の傳えるかぎりビブーン元帥の首相復歸と内閣の更迭は合法的である今後の報道がさらにこの點を證明すればシヤム政府に對する承認はそのまゝ繼續されるであらう。英米兩當局はアバイラン内閣はビブーン元帥が自ら首相として乗出すのは時間の問題だと

みていた。(ワシントン四・九UP共同)

○民主党入閣拒絶(四・二二NT星條)

ビブリン元師の組閣工作に對しアバイラン前首相の率いる民主党の動きが注目されているが民主党は九日夜新内閣に参加しないことを決定した。これによつてビブリン元師は議會で絶對多數を占める民主党の支持を失つたので連立内閣樹立の可能性は弱くなつた。消息筋はビブリン元師が政界復帰工作を完成するためつぎとする手段は目下シンガポールに亡命中の元首相プリジョー・パノムヨンの歸國を要請することだろつと見ている(バーンコーク四・九AP共同)

○ビブリン元師反共政策暗示

新内閣を組閣中のビブリン元師は十一日新聞記者會見て新内閣の反共的性格を暗示すると共に生活費の低下に失敗した場合に辭職する用意があると次の様に言明した。「自分は立憲君主制論者である。新内閣は左にも右にも偏しないが私は個人的には反共である。自分は生活費の低下に失敗したり國民の支持を失つたり軍が辭職した場合にはいつでも辭職する用意がある。また私はシヤムのロベスピエールにはなりたくないと思つている。自分首相の地位を引受けたのは樞密院が現下の危機を救はうる人物は自分以外にはないと認めたからである。なお十五日には議會に信任を問ふつもりである。(バーンコーク四・二二AP共同)

○ビブリン組閣方針(四・二一時事)

ビブリン元師は九日新聞記者團と會見、首相就任を受諾したとの

べ、次の様に組閣の方針を明かにした。「暫定閣僚の中には外相セ

イニー・プラモーツ氏内相は私が兼任、蔵相Cオワツチャイヤン氏となつてゐる。關係表正式提出の前に議會の意向をよく打診したい。新内閣が直ちに出来るべき問題は生活費暴騰の問題であるがこれは強硬措置をとらず穩健措置で解決したい」(バーンコーク四・九UP共同)

○ビブリンの組閣(四・二二NT)

ビブリンソクラー元師は本日首相内相としての彼と共に新政府を組織すべく招いた名表を發表した。去る十一月ダムロン・ナーワワツ首相政府打倒を助けた政客は誰も關係の地位は提供されなかつた。彼は水曜辭職したアバイラン内閣の四閣僚に地位を提供した。外相はアメリカに受けがよいと思はれる前在ワシントン公使プラモーツ氏に提供された。政界消息筋はプラモーツその他は政府に参加するを拒絶するかも知れないといつた。アバイランが黨主たる民主党はビブリン政府に参加するを拒絶すべく昨日投票した。(バーンコークAP共同)

○ビブリン内閣の顔ぶれ(四・一四都民)

新内閣は十二日樞密院に閣員名簿を提出。新内閣の重要ポストは非政黨者又十一月クーデター参加者が加わつていない點が注目される。議會の信任投票は十五日行われる。
外相 プリディー・デワラン殿下(退役陸軍大佐、外交官)
蔵相 ドナヴァニクモントリ(上院議員、實業家、元大蔵次官)
商相 プラヤー・マハイサワン(前大蔵次官)

内相 首相兼任
國防相 チャツナクロナ中將(留任)

(バーンコーク四・二二ロイター共同)

雑報

○シヤムに關する戦刊書

宣傳用出版物の沒收方に關する 昭和廿二年三月十七日附連合國最高司令官覺書の追加(官報所載)

友邦シヤムを訪れる 戸波親平著

昭一四・三・三一 アケオス工學社發行

○映畫アンナとシヤム王 廿世紀フォックス

昭和廿三年三月 東京 スバル座上映

ダリルFザナツタ提供

監督 ション・クロムエル

脚色 タルボット・シエニングス

サリー・ベンスン

原作 マーガレット・ランドン

音楽 パーナード・ヘルマン

撮影 アーサー・ミラー

製作 ルイ・ライオン

アンナ・オーエンス 配役

アイリーン・ダン

シヤム王

総管理

テイアン

アラク

エドワード卿

王子

ルイ・オーエンス

リチャード・ライオン

レックス・ハリスン

リンド・ゲイネル

ギール・コツツ

マイル・ラズムニー

デニス・ポリー

テイト・ルナルド

リチャード・ライオン

映畫評(三月十五日朝日) 撮影は美しい。ただしこの映畫は東洋趣味を外側から見ると歐米人にとってはおもしろいが二時間二十分をこえる長尺は一般の日本人にはくたびれる。東洋の専制君主の横暴さがヨーロッパ人の目で戲畫化されているが、それを體驗したことのある東洋人にはさしておもしろくも映らないであらう。一人のアンナといふイギリスの女性が一八六二年のこととはいへ、この映畫のようにやすやすとシヤムの封建性を改革したとは思えないがその頃のシヤムと大差ない封建性がまだあちこちに残つてゐる日本にとつてこの映畫のおもしろさもさがし出せよう。四六年度廿世紀フォックス作品(井澤)

○シヤムへの電報取扱(四・一八日経)

十五日からシヤムあて電報がマニラ無線經由で取扱を開始したと通信省で發表した。料金はシヤムあて通常一語五十三セントで外貨建の關係から一般は料金受信人拂か返信料前納證券で打電することになる。

協會記事

○會員動靜

西野順太郎氏 文京區駒込林町一三八(轉居)廿三年二月
 黒田長敬氏 福岡縣朝倉郡秋月町大字野鳥五三二(轉居)廿三年
 二月
 大谷清一氏 出雲市大津町四八九(轉居)

昭和廿三年 四月廿五日印刷
 昭和廿三年 四月三十日發行 (非賣品)

發行所 東京都杉並區萩窪二丁目一三三
 財團法人 日本シヤム協會
 (假事務所)
 電話 茨窪(39) 四一七〇
 振替口座 東京 一四八三一
 會員番號 B-112069
 東京都杉並區萩窪二丁目一三三
 星田晋五
 東京都文京區西片町一〇番地九三十二
 井澤廣夫
 印刷所 東京都文京區西片町一〇
 社 陵 印刷

財團法人日本シヤム協會

總裁及役員職員

- 總裁 秩父宮雅仁親王殿下
- 會長 徳川頼貞
- 常務理事 三島通陽
- 同 川村博
- 理事 伊東二郎丸、大倉喜七郎、川村博、向井忠晴、村井倉松
 黒田清、矢田部保吉、柳澤健、松本馨、二荒芳徳、淺野
 良三、北島多一、水野伊太郎、三島通陽
- 監事 門野重九郎、藤山愛一郎
- 評議員 岩倉具榮、石井康、犬丸徹三、稻葉正凱、細川禮立、徳
 川閣順、河井彌八、加藤勝太郎、加藤泰通、南條金雄、
 黒田長敬、黒田清、倉田猛郎、矢田部保吉、松平親、
 二荒芳徳、櫻並充造、櫻井兵五郎、北島多一、三島通陽、
 島津忠承、關屋貞三郎
 星田晋五
 主 山口武、江尻英太郎
 託